

# まじか 議会だより



No. 151

令和2年  
12月定例会

12月定例会・11月臨時会審議結果	… 2~3
一般質問	… 3~8
要望活動・研修	… 9
常任委員会活動	… 10~11
町民の声	… 12

12月定期会

# 里山風景と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例を制定

令和2年第13回定例会は、12月1日から3日までの3日間の会期で開かれました。

補正予算6件、条例2件などを審議し、原案どおり可決したほか、陳情審査報告が1件ありました。

町政に対する一般質問では、10名の議員が登壇しました。

## 令和2年度補正予算

会計区分	補正前の額	12月補正額	合計
一般会計	108億 299.3万円	4,129.4万円	108億 4,428.7万円
特別会計	国民健康保険	27億 6,941.1万円	27億 7,032.9万円
	後期高齢者医療	2億 1,964.9万円	2億 2,166.0万円
	介護保険	16億 4,364.3万円	16億 4,487.3万円
	公共下水道事業	5億 3,181.1万円	5億 4,378.3万円
	農業集落排水事業	1億 127.6万円	1億 266.7万円
合計		160億 6,878.3万円	161億 2,760.3万円

#### 【歳出補正予算の主な内容】

## 新型コロナウイルス関連

- ・デマンドタクシー運行委託料（187万円）
  - ・非接触型体温計購入配布事業補助金（140万円）
  - ・小中学校燃料費、光熱水費（315万円）

- ・ mashipo 加盟店 ipad 購入事業（603 万円）
  - ・ 橋梁（百目鬼橋）補修設計費（300 万円）
  - ・ 東京オリンピック聖火リレー実行委員会交付金（120 万円）

提出しました

内閣総理大臣、財務大臣等、  
国際機関に対し、意見書を

## ●防災・減災 國土強靭化対策の推進を求める意見書

意見書

## 字の区域の変更

令和元年度に実施した地籍  
調査事業の山本X地区（原地  
区）において、現地調査の結  
果、現況に符合しない字の区  
域が生じたことにより、字の  
区域を変更するものです。

## 益子町国民健康保険税条例 の一部改正

条例

陳情

635  
万円相当

◇寄附者  
静岡県伊東市

千葉県君津市  
木村 豊隆 氏

寄附受け入れ報告

され、慎重審議のため閉会中の継続調査となつた。

◇陳情者  
益子町大字上大羽

## ● 益子町ランドスケープ計画 に関する陳情

## 11月臨時会

# 町議会議員、常勤の特別職職員、職員及び 会計年度任用職員の期末手当を引き下げ

令和2年第12回臨時会が11月30日に開かれ、条例5件を審議可決しました。

## 条例

- 益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（全員賛成）
  - 益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正（全員賛成）
  - 益子町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正（全員賛成）
  - 益子町一般職の給与に関する条例の一部改正（全員賛成）
  - 益子町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正（全員賛成）
- それぞれ、人事院勧告に従い「一般職の職員の給与に関する法律」が一部改正され、国に準じて期末手当の支給月数を0.05ヶ月分引き下げるものです。
- 益子町は、国において「特別職の職員の給与に関する法律」が一部改正され、国に準じて期末手当の支給月数を0.05ヶ月分引き下げるものです。

## 一般質問

10名の議員が登壇！

### 小島 富子 議員 4ページ

- ①町の少子化対策について
- ②観光戦略（DMO）について
- ③mashipo カード事業について

### 廣田 茂十郎 議員 4ページ

- ①財政計画と今後の事業について

### 諸田 秀之 議員 5ページ

- ①防犯灯、公共施設の照明について
- ②特殊詐欺犯罪での防止対策について
- ③いじめ対策に関する考え方について

### 関 絹江 議員 5ページ

- ①通学路の歩道について
- ②高齢者総合福祉計画について
- ③悠和館の宿泊の状況について

### 小島 久之 議員 6ページ

- ①防災減災について

町ホームページで

会議録の閲覧もできます！

### 日渡 守 議員 6ページ

- ①安定した財源確保への取り組みについて
- ②コロナ禍の中、児童生徒に認知能力・非認知能力を身につけさせるための取り組みについて
- ③新ましこ未来計画の総括について

### 岩崎 秀樹 議員 7ページ

- ①益子焼を使おう条例について
- ②産業振興について

### 大関 保 議員 7ページ

- ①雇用対策について
- ②デジタル化の推進について
- ③観光基盤の整備について

### 直井 陸 議員 8ページ

- ①ランドスケープ計画について
- ②日本遺産認定に伴う事業について

### 小野澤 則子 議員 8ページ

- ①男女共同参画プランの現状と今後について
- ②ICT教育について



**質問** 特殊詐欺の被害状況と今後の対策の取り組みは。R2年度は町内で1件、広

#### 特殊詐欺犯罪での防止対策について



諸田 秀之 議員

#### 防犯灯、公共施設の照明について

**質問** 防犯灯、公共施設のLED化の進捗状況と今後の計画は。

**町長** 交換が必要な蛍光灯は順次LEDに交換し、約82%LED化。公共施設は小中学校を含めLED化が進んでいない。公共施設毎に計画的にLED化を進めたい。

**質問** 照明の2020年問題に対する町の対応は。

**町長** 高圧ランプや水銀灯等、製造が終了となる照明は野外施設が多く、対応方法の検討を始めた。

**質問** 震災における次世代でのソーラー防犯灯の設置の考えは。

**町長** 次世代ソーラー防犯灯は、点灯時間の増減やバッテリー消耗もあり機種の検討や設置する場所など含め調査すべきと考えている。

報ましこによる被害防止の啓発や町の登録メールのお知らせで対応。

**質問** 特殊詐欺対策電話機導入状況と具体的な効果は。

**町長** 補助開始から27件の交付。自動録音機能があるので、電話での詐欺が起きにくい事から一定の効果があるものと考えている。

**質問** 町特殊詐欺対策電話機購入補助金交付が真岡市より益子町が8ヶ月間も遅れているのはなぜか。

**総務課長** 真岡市は都市部であり、益子町より被害件数が多いので早めに補助の施策をとつたと思う。

益子町より被害件数が多いので早めに補助の施策をとつたと思う。

**町長** 町道18号七井大平線通学路整備事業を進めている。県道については県道黒田市塙真岡線、西小塙真岡線の工事が進められており、県道益子公園線、下大羽益子線についても整備に向けて計画が進んでいる。

補助金交付が真岡市より益子町が8ヶ月間も遅れているのはなぜか。

**町長** 町道18号七井大平線通学路整備事業を進めている。県道については県道黒田市塙真岡線、西小塙真岡線の工事が進められており、県道益子公園線、下大羽益子線についても整備に向けて計画が進んでいる。



絹江 議員

#### 通学路の歩道について

**質問** 町内のいじめの状況は。

**教育長** 各小中学校からいじめの報告はあるが、重大な案件や、未解決の案件はなく、各学校の指導で順次対処している。

**質問** いじめ防止のための具体策はどうになっているのか。

**教育長** 基本的にはまずいじめの未然防止。児童・生徒指導等の充実を図り、教育活動全体で未然防止に努めている。次にいじめの早期発見。いじめを訴え易い相談体制の整備としてQ.U.調査等も参考にいじめの早期発見に努めている。

町内の通学路で歩道がない危険箇所の歩道整備の進捗状況と歩道整備計画はあるのか。

**町長** 町道18号七井大平線通学路整備事業を進めている。県道については県道黒田市塙真岡線、西小塙真岡線の工事が進められており、県道益子公園線、下大羽益子線についても整備に向けて計画が進んでいる。

相談については福祉係職員と県の自立相談支援員が応接セツトやロビーの相談、ブースで声が漏れないよう十分配慮し、対応している。また必要に応じて高齢者支援課や社協へつないだり、県東事務所へ申請を進達する体制を取っている。

**健康福祉課長** 人目を気にせず相談出来る場所を設けるのは可能なのか。

第7期計画の目標や具体的な対策や第5期からの成果は出ているのか。第8期計画との整合性は。

**町長** 地域包括支援センターを中心、医療等の関係機関による連携体制づくり、地域全体で高齢者を支える包括的で継続的な仕組みづくりを推進している。第5期から高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアシステムを構築するために、地域支援事業の充実や在宅医療介護連携等の取組を進め、高齢者の自立支援、重

度化防止等に向け、包括的な支援体制の構築に向けた取組をさらに推進していく。

**質問** 計画の基本理念にある介護離職者（家族の介護を理由とした離職）ゼロに向けたサービス基盤の整備は出来上がったのか。

必要なサービスの確保、働く環境の改善、家庭支援の3本の柱がある。働く環境の改善は雇用者の理解が必要で、周知事業はまだ十分に進んでいない部分がある。

介護離職した方が生活保護の相談に来た時の対応は。また周囲を気にしない場所で行われているのか。

**健康福祉課長** 相談については福祉係職員と県の自立相談支援員が応接セツトやロビーの相談、ブースで声が漏れないよう十分配慮し、対応している。また必要に応じて高齢者支援課や社協へつないだり、県東事務所へ申請を進達する体制を取っている。

**質問** 人目を気にせず相談出来る場所を設けるのは可能なのか。

**健康福祉課長** 庁舎の関係もあるので総務課と相談して検討していく。

コロナ禍の中、介護離職者が増えると思います。介護離職から生活困窮になってしまった方への救済を検討し、各課連携を取り、なお一層速やかに対処していただきたい。



小島 久之 議員

## 防災減災について

**質問** 防災重点ため池調査業務の進捗状況はどうなつてているか。

**町長** ため池の診断については、大郷戸ダムは問題なし、法堂寺上池は継続して堤体の観測を実施し、定期的な巡視を行うという評価でした。令和3年度から4年度の2か年間にわたり国庫100%の補助事業を活用し、全ての防災重点ため池の防災対策調査業務を実施してまいります。

**質問** 2年間で残りのため池を調査するということだが、調査結果はまとめて発表するのか。一つ一つ完了次第発表していくのか。

**農政課長** 益子町はため池の数が県内でも多いほうなので、委託業務により実施可能な池から順次契約をし、計画的に進めてまいります。

**質問** 修理が必要となつた場合、補助金などはどのようになるのか。

**農政課長** 国が50%、県が25%、町12.5%、受益者12.5%の補助事業を活用してまいりたいと考えています。

**質問** 土石流危険渓流の看板があるが、砂防ダムが整備されているのは何か所か。町はどのように考えているか。

**町長** 町内の土砂災害警戒区域は117か所、看板は31枚、砂防ダムは15か所整備されております。地域の方々に注意喚起を行つてまいります。



日渡 守 議員

## 安定した財源確保への取り組みについて

**質問** 町税徴収率を上げることは喫緊の課題であるが、今年度の取り組み状況と実績の見通はどうか。

**町長** 町税徴収率については10月末で昨年との比較において1.5%程度減少している状況です。滞納繰越分については約0.9%増加し、現年度分は約2%減少しています。税目別では、固定資産税の徴収率減少が大きなウエートを占めており、このまま推移すると最終的な徴収率は前年度比2%程度の減少が見込まれます。

徴収率向上への取り組みについては、滞納繰越分は引き続き財産調査などをを行い差押え等の滞納処理を県税事務所と連携して進めています。現年度のみの未納者については、コロナ禍であることも配慮しながら電話や文書での催告を中心に、必要に応じて現地訪問も行い、徴収率の向上に努めています。また、本年度から催告者封筒の色を変え、赤色のスタンプを押すなど、注意を引く

**質問** 情報通信技術（ICT）を活用した主体的・対話的で深い学び（AL）等が実施されているが、具体的にどのような授業内容なのか。

**教育長** 現在整備中の一人1台端末と電子黒板を活用し、各教科・領域で進めていく。授業中の展開の段階において、個別に考える場面ではタブレットで自分の意見を形成し、ペア学習・グループ学習の場面では班になってタブレットを見せ合いながら議論し班の意見を電子黒板に映しながら発表してクラス全体で議論する、といったような協働的な学びを行っています。

**質問** 非認知能力を身につけさせる教育はどのように実施されたか。

**教育長** 非認知能力については、学校教育全体及び各教科・道徳科・外國語活動・総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、思いやり・やり抜く力・協調性・自制心・勤勉性・自尊心・意欲等を育てており、道徳教育やキャリア教育との関連も図りながら、教育活動を行つています。

**質問** 日本の避難所は非常に狭く、1人当たり1.8平米くらいと言われているが、当町ではどのように考えております。

**総務課長** 町の防災計画では一人当たり3.0平米としていますが、新型コロナ感染予防対策のため、一人2m以上の間隔を置くようにしています。

工夫をしているほか、自ら納税していただく意識付けのため、広報ましこを利用して滞納処分などの周知を行つています。

工夫をしているほか、自ら納税していただく意識付けのため、広報ましこを利用して滞納処分などの周知を行つています。



岩崎 秀樹 議員

## 益子焼を使おう条例について

Sを使った啓蒙活動に取組んでいく。  
くであつたが、23億まで落ち込んだ  
原因と対策は。

## 観光商工課長

重くて欠けやすいイ  
メージがあつて、軽くて安価なもの  
に移行しているのが原因。対策とし  
てフォトコンテストや、インスタグ  
ラムを使って広くPRしている。

## 質問

この条例の目的達成のため  
に、どのような施策を行つたのか。

町長 町の役割は益子焼の普及と  
振興を図るため、隨時周知に努めて  
いる。具体的にはH31年よりインス  
タグラムを使つた益子焼を使おうフオ  
トコンテストを開催し、R元年のコ  
ンテストでは725件の応募があり、サ  
イトへの投稿者が130件で、1万強  
「いいね」となつてゐる。

質問 条例制定後の益子焼の売上  
はどのように変動したのか。

町長 R元年度の販売額は23億483  
万円でH28年度より約6億2千万円  
の減少。

質問 現状での課題は。

町長 年2回の陶器市に入込が偏  
重しており平準化を図れるように食  
文化を作つて行く産地づくり、そ  
してDMOにも期待をしている。

質問 今後の利用率向上的施策は。  
町長 世界の誇れる益子焼を率先  
して利用頂けるよう、ウェブやSN  
Sを使った啓蒙活動に取組んでいく。  
くであつたが、23億まで落ち込んだ  
原因と対策は。



保 議員

## 雇用対策に企業誘致を

他の産地では飲食店等で業  
務用に焼き物を使うと補助金を出し  
ている所もあるが、当町のお考えは。

副町長 補助措置はないが、財政支  
援策を含めて検討する必要がある。

質問 日本遺産に登録になつた事  
は非常にうれしい事だが、23億の売  
上はコロナ前の売上であつて、その  
後ひどく落ち込んでいつてゐる。地  
域の活性化を図るという目的の達成  
が危惧されるが、いかがお考えか。

副町長 日本遺産を活用したまちづ  
くりは焼き物とそれに付随する様々  
な文化等を含めて認定されている。  
益子焼と笠間焼がどういった形で結  
び付いてるかは今迄情報発信して  
いなかつた部分もあるので、かさま  
しこといふ形で2つの地域が連携す  
る施策を強力に推進して焼き物の販  
売促進に取り組んで行きたいと思つ  
ている。具体的には国内だけでなく  
海外への販路を含めて、今後積極的  
に検討したいと考えてゐる。

質問 企業誘致は塙の用地の他、  
産業団地の造成を考えているか。

産業建設部長 他に適する土地があ  
れば幅広く企業の誘致を考える。

## デジタル化の推進について

活用して推進する。

教育長 デジタル教科書の採用は現  
在検討していない。指導者用デジタ  
ル教科書の整備が完了してから。

総務課長 法的改正を注視して行政  
事務合理化委員会で検討を始めなく  
てはならないと考えてゐる。

質問 行政手続きの押印省略化は  
検討しているか。

## 観光基盤の整備について

質問 サイクリング拠点施設の場  
所は決定しているか。28台購入の自  
転車のターゲットの想定は。

町長 慎重に進める為、拠点施設  
整備は一時凍結し、コロナ対策に使  
う。自転車のターゲットは家族層  
20代から40代のグループです。

質問 日本遺産サイクルツーリズ  
ム調査対象の内容は。

教育長 日本遺産ストーリーに関係  
するルートを調査対象とする。

質問 DMO実現に、さらなる公  
費の支出が必要では。また自転車の  
保管場所はどうするのか。

観光商工課長 軌道に乗るまでは交  
付金で対応していきたい。今、その  
事務所及び保管場所を探してゐる。



直井 陸 議員

**町長** 里山の風景に魅力を感じてもらえるように、暮らしてみたいと思つていただけるように、益子ならではの価値をつくる計画となるので具体的に一つ一つ創りながら町民皆様の理解を求めてまいりたいと思います。

### まちづくりの指針となる「ランドスケープ計画」について

**質問** 昨年3月に策定されたランドスケープ計画を推進するため、どのように事業を実施されますか。

**町長** 計画策定に至るまでに説明会や地域懇談会等を実施してきました。今後も地域住民との対話を重ねながら推進します。なお、具体的な専門家のアドバイスを受けながら地域の景観をつくっていきます。

**質問** ランドスケープに関する事業実施に伴い、新たに組織形成はされますか。

**町長** 認定を契機に文化振興では、文化財ガイドの育成、日本遺産商品化セミナー、ホームページ等による情報発信、案内板等の設置を行います。また、観光振興では、ランニングバケーション及びサイクリングツーリズム推進に係る調査、消費動向調査を行います。これらの事業により文化財を保存しながら総合的に活用し、地域活性化につなげていきます。

**質問** 平成31年度までに役場の管

### 日本遺産「かさましこ」認定後の推進について

**質問** 益子町と笠間市のシリアル型で認定されました。どのように連携し、推進されますか。

**町長** 「かさましこ」兄弟産地が紡ぐ焼き物語”が認定され、7月末に両市町長や観光協会等の関係団体の代表者を構成委員とした日本遺産活性化協議会を設立しました。今後は両市町の事務局を中心に連携し、事業を進めていきます。

**質問** 日本遺産認定を地域振興としてどのように活用されますか。

**町長** 認定を契機に文化振興では、バランス実現への支援について現状をどう認識して対策するのか。

**質問** 第二期男女共同参画プラン策定時に実施したアンケートで、生活と仕事を両立させたいとの回答率が高い。しかし現実は仕事優先という回答が最も多い。町では、家庭生活や地域活動とのバランスのとれた働き方の実現に向け、HPによる男女共同参画プランの周知をしている。今後第3期プラン策定に再度アンケートを行い、反映させたい。

**質問** プログラミング授業や電子黒板の活用のための教員の習熟度の差について把握しているのか。

**教育長** 把握している。疑問や、不安を解消する研修を実施している。

**質問** 業務の増加に伴う残業時間の管理はどのようにしているのか。

**教育長** 働き方推進プランを策定し、来年度までに月の時間外勤務80時間超の教員がゼロとなるよう勤務時間の適正化に取り組んでいる。



小野澤則子 議員

### 「第2期ましこ男女共同参画プラン」の現状と今後について

**理職の女性比率を15%以上にする目標**であったが、どう考えるのか。  
**総務課長** 管理職1名。6.7%という現状。目標に向けて考えなくてはならない。  
**質問** 少子高齢化や社会経済情勢の変化など、課題に対応する上で、男女共同参画の視点は必要不可欠と計画策定の趣旨にある。次期総合計画に「男女共同参画を推進する」と一文を入れるのはいかがか。

**質問** 昨年3月に策定されたランドスケープ計画を推進するため、どのように事業を実施されますか。

**町長** 計画策定に至るまでに説明会や地域懇談会等を実施してきました。今後も地域住民との対話を重ねながら推進します。なお、具体的な専門家のアドバイスを受けながら地域の景観をつくっていきます。

**質問** ランドスケープに関する事業実施に伴い、新たに組織形成はされますか。

**町長** 認定を契機に文化振興では、文化財ガイドの育成、日本遺産商品化セミナー、ホームページ等による情報発信、案内板等の設置を行います。また、観光振興では、ランニングバケーション及びサイクリングツーリズム推進に係る調査、消費動向調査を行います。これらの事業により文化財を保存しながら総合的に活用し、地域活性化につなげていきます。

**質問** 平成31年度までに役場の管

**質問** プログラミング授業や電子黒板の活用のための教員の習熟度の差について把握しているのか。

**教育長** 把握している。疑問や、不安を解消する研修を実施している。

**質問** 業務の増加に伴う残業時間の管理はどのようにしているのか。

**教育長** 働き方推進プランを策定し、来年度までに月の時間外勤務80時間超の教員がゼロとなるよう勤務時間の適正化に取り組んでいる。

## 令和3年度予算の要望を 町長に提出



### 出張意見交換会を開催

10月31日に出張意見交換会を行いました。

改善センターで行いました。  
11名の方と意見交換会を行  
い、ランドスケープ計画、図  
書館建設、区画整理事業、レ  
ンタサイクル事業などにつ  
て貴重なご意見を伺うことが  
できました。

参加者の皆さんからいただ  
いたご意見・ご要望は、今後  
の議会活動に生かしてまいり  
ます。



### 芳賀北部広域行政推進 協議会で要望活動

### 議員研修

#### 芳賀都市議会議員 自治研修会



11月6日、真岡市の市民  
“いちご”ホールで研修会が  
行われました。講師は前高知  
県知事の橋本大二郎氏で、  
「地域自立型の国づくり」とい  
うテーマで講演を聴きました。

#### 県町村議会議員研修会

11月10日、県総合文化セン  
ターで、研修会が行われまし  
た。講師は宇都宮大学地域デ  
ザイン科学部准教授の三田妃  
路佳氏から、「若者の政治参  
加の意味と現実」、順天堂大  
学医学部免疫学特任教授の奥  
村康氏から、「不良長寿のす  
すめ」というテーマで講演を  
聴きました。

### 笠間市日本遺産を視察



11月12日、笠間市の日本遺  
産構成文化財を見学するにあた  
り、観光ボランティアガイド  
の方から笠間の歴史や構成文  
化財について丁寧に説明を受  
け、より理解を深めることができました。今後の議会活動  
に生かしていきたいと思いま  
す。

## 要望活動・研修

12月3日、議会から町長に  
対し、  
①人口減少対策  
②新型コロナウイルス感染症  
対策  
③安全安心に向けた道路整備  
④自然景観の保全と活用  
⑤高齢者の生きがいづくりの  
推進及び支援策  
⑥ICT化推進  
の予算を要望するほか、事  
務事業及び町主催イベント  
事業の評価厳格化による事  
業統合・廃止の推進、所管  
課複数にわたる横断的事業  
の連携強化及び民間移譲の  
推進について要望しました。

※議会では、10名以上の団体に対  
して出張意見交換会を行っていま  
す。希望される場合は議会議員や  
議会事務局までご連絡ください。

要望書を提出  
しました。  
区に係る道路整備  
促進等に関する  
要望書を提出  
しました。



～10月・11月・12月実施分～

**総務産業  
常任委員会**

6項目

- 陶芸メッセ事業 (10/28)
- 入札制度 (11/27)
- 財務財産管理 (公共施設管理を含む) (11/27)
- 観光戦略 (12/25)
- 新型コロナウイルス感染症による経済対策 (12/25)
- 陳情 (12/25)

**●陶芸メッセ事業**

陶芸メッセの主な事業は、陶芸美術館事業と国際工芸交流事業となつていて。美術館事業は年間を通して企画展を開催しており、「広報ましこ」お知らせ版において無料入場券を添付し、町民の利用を促している。工芸交流事業は、平成26年から益子町と国内外アーティストの交流促進や陶芸文化の共有を目的として海外作家招聘事業や教育普及プログラムを実施している。

企画展の広報手段として、道の駅の益子焼展示スペースを活用し、観光コースの導線となるよう連携を図られたい。国際工芸交流館の遊休時期を有効に活用されたい。



陶芸メッセを視察後、研修館で説明を受ける様子

総額約15億4350万円の積み増しが重要であり、いかに基金残高を確保していくかが課題となつていて。

財政調整基金は、年度間の調整機能のほか、大規模な災害時や感染症対策など緊急を要する場合に充当される財源補填機能を有する。

公共施設については、総合管理計画で将来的な財源不足が指摘してあり、総施設の延べ床面積16%相当分を減少する必要があるが、現時点では法施行令に基づき判断する。

建設工事の現場管理については、施工管理を委託している現況にあるので、落札予定価格の設定削減のためにも技術を保有する職員の確保が必要である。

**【委員会の意見】**

随意契約については地方自治法施行令に基づき判断する。

建設工事の現場管理については、施工管理を委託している現況にあるので、落札予定価格の設定削減のためにも技術を保有する職員の確保が必要である。

**【委員会の意見】**

随意契約については地方自治法施行令に基づき判断する。

建設工事の現場管理については、施工管理を委託している現況にあるので、落札予定価格の設定削減のためにも技術を保有する職員の確保が必要である。

**●新型コロナウイルス感染症による経済対策**

感染者まん延防止策による地域経済悪化の対策として、相談窓口の設置をはじめ、融資貸付制度の緩和・新設や休業補償の協力金、既存の事業者が新たな業態を開拓するための支援金や事業所内の3密を回避するための支援補助金を回避するための支援補助金、消費行動喚起のためプレミアム率を上乗せした商品券発行や宿泊・体験クーポン事業、春秋のWEB陶器市など13事業が施され、それぞれ成果を得ている。

**●入札制度**

地方自治法により売買、賃借、請負その他の契約は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約、せり売りの方法により締結される。一般競争入札は3千万円以上の建設工事を対象とし、原則130万円を超える工事または製造の請負等は指名競争入札を実施し、

**●財務財産管理**

発注額、発注件数等の減少に伴い町内の入札登録者数が減少傾向にあり、地域経済を鑑み、登録業者の格付け改定を含め、地元業者の育成策となるよう図られたい。

**●観光戦略**

1月中に申請、来年度4月設立予定のましっこDMO（仮）について、法人格を取得し、組織体制として最高執行責任



者をはじめ、事業執行、マーケティング、財務等の責任者を置く。事業案として、まし

ぱカードの運用やWEB陶器市の事務局運営、ふるさと納税自主サイト運営、レンタサイクル事業を予定している。

また、設立後3年を自途に自己主導での経営を目指す。

## 教育厚生 常任委員会

5項目

○日本遺産（かさましこ）（10/28）

○図書館建設（11/27）（12/25）

○育脳プログラム（11/27）

○生ゴミ処理事業（12/25）

○益子町の里山風景と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例

施行規則（12/25）

### ●図書館建設

本計画策定委員会が始まった。今年度から益子町図書館基

メンバーや、地域代表1名、

図書館関係代表3名、教育関

係団体代表9名、女性団体代

表1名、議会代表1名、公募

者5名であり、そのほか事務

局5名、アドバイザー1名が

入っている。このうち図書館

基本構想検討委員会から継続

している委員は3名である。

またアドバイザーは、1回目の講演会の講師を務めたアカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役の岡本真氏である。

今年度は会議3回、視察2回、ワークショップ13回のほか、12月に小中高校生及び幼保小中保護者を対象としたアンケートを行う予定となつてある。

ワークショップは、小中保護者、幼保保護者、小学生、中学生、高校生、一般に分けて行う。

視察については、那須塩原

市の「みるる」と須賀川市の

「tette」という図書館

### ●育脳プログラム

育脳プログラムは「新まし

まし」として、那須塩原市で実施する「ましっこ未来計画」における【社会

で多くの意見が出されて全体像が膨らみすぎて曖昧になってしまっているので、基本計画策定委員会では本町のレベルにあつた実現可能なものに絞られるよう努力されたい。

また、図書館を複合施設にするという言葉と視察先が全て複合施設であるということから複合施設案が先行していく

子どもの脳が4段階で発達することに基づき、それぞれに合った育脳の方法を示していく。作成にあたつては、子育て支援等に關係の深い団体の代表者等を委員とした「益子町育脳プログラム作成委員会」を設置し、内容を検討した。

特に、現在はコロナ禍の中であり育脳プログラムは実施が難しい時期ではあるが、ウイズコロナ・アフターコロナを視野に入れて、普及啓発

世代を担う人財の育成を目指すものとしている。ましっこ育脳プログラムは、子どもたちの脳の成長を促進するための取り組みである。まちぐるみで楽しく人づくりへ

的に行くことによってしか得られない情報（運営方法及び選書など）を確認する。

アンケート結果やワークショッ

プの内容など図書館に関する情報は、広報紙へ随時掲載す

るほか、町のホームページ内の図書館のページを作成し

発信することも検討している。

【委員会の意見】

前回の基本構想検討委員会

で多くの意見が出されて全体

像が膨らみすぎて曖昧になっ

てしまっているので、基本計画策定委員会では本町のレベルにあつた実現可能なものに絞られるよう努力されたい。

また、図書館を複合施設に

するということに基づき、それぞれに

合った育脳の方法を示していく。

作成にあたつては、子育て支

援等に關係の深い団体の代表者等を委員とした「益子

町育脳プログラム作成委員会」を設置し、内容を検討した。

普及啓発については、今年度は新型コロナウイルス感染

症の影響もあり、思うように取り組みができなかつた。今

後については取り組みを拡充しプログラムの周知・普及に

努めていく。

【委員会の意見】

ましっこ育脳プログラムは普及啓発

やPRが必要である。子ども

の誕生時・4ヶ月健診時・



ましっこハウスで説明を受ける様子



## 町民の声

安藤由美子さん



スポーツに親しみ  
笑顔に出会う益子に

- ・真岡市出身 塙在住
- ・益子町スポーツ推進委員
- ・益子町前教育委員
- ・カナダオープンバドミントン選手権大会出場
- ・全日本総合バドミントン選手権大会出場
- ・インターハイ、国体等出場

ない様に、そして協力してく  
れる指導者・家族・地域への  
感謝を忘れない様に指導して  
います。  
私はスポーツをする子供達  
が増えることを期待していま  
す。丈夫な体と心、優しい心  
や苦しいことに耐え、体験し  
た事を人生の中で役立てほし  
いと思います。そして生涯ス  
ポーツでずっと親しんでくれ  
ることを願っています。

町及び議会においても、新  
る環境作りを目指して指導し  
ております。受験を控えた3  
年生も時々参加してくれ大変  
うれしいことです。

益子町では部活動外部指導  
員を任用する体制があり、そ  
の外部指導員として益子中学  
校のバドミントン部を担当し  
ており、技術面などのサポー  
トをしております。

私はバドミントン歴50年に  
なります。22年前子供の成長  
と共に友人と益子ジュニアバ  
ドミントンクラブを立ち上げ  
ました。地元ペニタックスの  
体育館を無償で貸して頂き思  
う存分練習が出来ました。地  
域の小学生・中学生を指導し  
県大会優勝、関東・全国と繋

現在は総合型地域スポーツ  
クラブましこチャレンジクラ  
ブのバドミントン教室(小学3  
年から中学生まで)を指導者4  
名とボランティアの方々で毎  
週土曜日活動しております。  
教室ではルールを学びなが  
ら体力や技術の向上だけでは  
なく、楽しく気軽に参加でき  
ます。



安藤バドミントンクラブ

## あなたも議会を 傍聴しませんか

次回 3月4日(木)  
開催予定

本会議当日、3F議会事務局で  
傍聴証を交付します。予約不要。

また、役場1Fホールモニター  
で議場の様子を放映しています。

※新型コロナウィルス感染予防  
対策にご協力  
ください。



## DVD 貸出しています

令和2年9月定例会から一般質問の映像の  
部分をDVD化し、中央公民館図書室で貸出  
しています。ぜひご利用ください。

広報広聴  
常任委員会

## 「町民の声」であなたの声を！

町民の声を募集いたします。13文字×60行の中に、あなた  
が普段考えていること、行政に伝えたいことを書いてください。  
顔写真、プロフィールもあ忘れなく！

郵送または議会事務局（下記のTEL）までご連絡ください。  
住所、氏名、電話、メールアドレスをお願いいたします。

【訂正】議会だより150号の6ページ、高橋家光議員の一般質問において  
表記が一部間違っていました。  
●18行目中「基本計画」は「基本設計」です。訂正してお詫び申し上げます。